

鳥取市議会予算審査特別委員会総務企画分科会会議録

会議年月日	令和5年2月27日（月曜日）		
開 会	午後2時02分	閉 会	午後3時33分
場 所	市役所本庁舎7階 第1委員会室		
出席分科員 （8名）	分科会長 砂田 典男 副分科会長 長坂 則翁 分科員 柳 大地、岡田 実、西尾 彰仁、伊藤 幾子、 平野真理子、上杉 栄一		
欠席分科員	なし		
分科員外議員	玉木 裕一		
事務局職員	局長 補佐 毛利 元 議事係長 中川 真理		
出席説明員	<p>【総務部】</p> <p>総務部長 乾 秀樹 次長兼総務課長 一村 泰志 公文書管理室長 有元 薫治 総務課課長補佐 蔵増 彩 次長兼行財政改革課長 河口 正博 行財政改革課参事 米田亜希子 行財政改革課課長補佐 宮崎 学 次長兼職員課長 塩谷 範夫 職員課課長補佐 入江 卓司 検査契約課長 河上 昌輝 検査契約課課長補佐 霜村 俊二 財産経営課長 濱岡 直樹 財産経営課課長補佐 中村 和範 資産活用推進課長 福井 一朗 資産活用推進課課長補佐 有田 博</p> <p>【総務部 税務・債権管理局】</p> <p>税務・債権管理局長兼市民税課長 吉田 彰克 固定資産税課長 中島 辰哉 収納推進課長 池原 章博 市民税課課長補佐 谷本 泰志 固定資産税課課長補佐 渡邊 佳絵 収納推進課課長補佐 中瀬 淳</p> <p>【総務部 人権政策局】</p> <p>人権政策局長兼人権推進課長 谷口 恭子 次長兼中央人権福祉センター所長 川口 寿弘 人権推進課課長補佐 太田奈津美 男女共同参画課長 池上 朱美 男女共同参画課課長補佐 蜂谷 知哉 男女共同参画センター所長 安本 哲哉</p> <p>【危機管理部】</p> <p>危機管理部長 森山 武 危機管理課長 植田 孝二 危機管理課課長補佐 太田 瑞穂</p>		

	<p>【監査委員事務局】 事務局 長 富山 茂 事務局 次 長 川口 悦代 局 長 補 佐 金岡 正樹</p> <p>【選挙管理委員会事務局】 事務局 長 馬場 睦雄 事務局 次 長 田淵 康修</p> <p>【出納室】 会計管理者兼出納室長 中村 理人 室 長 補 佐 井上 拓也</p> <p>【市議会事務局】 事務局 長 保木本英明 事務局 次 長 植田 光一 局 長 補 佐 毛利 元</p>
傍 聴 者	なし
会議に付した事件	別紙のとおり

予算審査特別委員会総務企画分科会に切替え 午後2時02分 開会

◆砂田典男分科会長 それでは、総務企画委員会を終了し、予算審査特別委員会総務企画分科会を開催します。

はい。それでは、ただいまより、予算審査特別委員会総務企画分科会を開催いたします。

議案第1号令和5年度鳥取市一般会計予算のうち所管に属する部分（説明）

◆砂田典男分科会長 議案第1号令和5年度鳥取市一般会計予算のうち、所管に属する部分について、御説明を簡単明瞭にお願いいたします。

○河口正博次長兼行財政改革課長 委員長。

◆砂田典男分科会長 河口次長。

○河口正博次長兼行財政改革課長 はい。行財政改革課、河口でございます。どうぞよろしくお願いをいたします。それでは、資料3でございます。A4横でございますが、こちらの資料3を使って、順次御説明をさせていただきます。なお、2月13日に全員協議会で、市長、それから部局長のほうから御説明をさせていただいております。その内容と重複しないように、できる限り外した説明に努めていきたいというふうに考えております。併せまして、市税等につきましては、税務・債権管理局長のほうから説明がありましたので、その分も説明を省略をさせていただきたいというふうに思います。

それでは、資料の1ページから御覧になっていただきたいと思います。1ページからは、市税でございますので、こちらは局長のほうから御説明がありましたので、1ページ、2ページ、3ページ、省略をさせていただきます。

それから、4ページでございますが、4ページからは地方譲与税、それから交付金ということでございます。こちら先ほど、午前中、御説明させていただきましたが、県のほうが、こ

の確定額を提示をされましたので、それに併せまして計上はさせていただいているものでございます。

5ページのところに、中ほど、3利子割交付金、それから、4配当割交付金、5株式等譲渡所得割交付金がございます。こちら、少し、前年度より額のほうが下がっております。こちら、株式取引のほう非常に今落ち込んでおりまして、こういった影響がございますので、県のほうが示した額としては、かなりの減額になっているというものでございます。

それから、6ページを見ていただきたいと思います。2つ目の地方消費税交付金でございます。こちら、本年度予算額が48億3,048万1,000円ということで、前年度より3億3,618万8,000円の増ということでございます。こちら、景気の回復を見込んでおりまして、これも、国・県のほうと歩調を合わせまして、地方消費税交付金を増額をしているところでございます。

それから、7ページに行ってくださいまして、真ん中でございます。地方交付税でございます。項・目、地方交付税、地方交付税でございますが、本年度予算額としましては235億7,076万5,000円ということでございまして、その内訳でございますが、普通交付税が217億7,076万5,000円ということでございます。こちらは、前年度と比べまして、10億9,604万7,000円の増ということでございますが、こちらの大きな要因につきましては、また後で出てきますが、臨時財政対策債との振替が一番大きな額ということでございますので、交付税は前年度より大幅に増ということでございます。

なお、その下の特別交付税につきましては、前年度と同額の18億円を当初予算では計上させていただいておるというものでございます。

続きまして、8ページ以降につきましては、特定財源でございますので、こちらにつきましては、歳出のほうの説明と併せて、資料のところの御説明はさせていただきたいというふうに思います。以上でございます。

○福井一朗資産活用推進課長 はい、委員長。

◆砂田典男分科会長 福井課長。

○福井一朗資産活用推進課長 資産活用推進課、福井でございます。お手元の資料は12ページに飛んでいただけますでしょうか。下から2行目の土地売払い収入でございます。款財産収入、項財産売払い収入、目不動産売払い収入、4,215万1,000円の土地売払い収入を計上しております。これは、未利用となっております旧矢口団地跡地などの普通財産の売払いを予定しているものでございます。

続きまして、その下、物品売払い収入でございます。令和5年度、100万円の物品売払い収入を計上しております。これは、経年劣化等により、今後使用しないとした車両など、こちらのほうをインターネット公売で売却を予定しているものでございます。以上です。

○河口正博次長兼行財政改革課長 委員長。

◆砂田典男分科会長 河口次長。

○河口正博次長兼行財政改革課長 はい。行財政改革課、河口でございます。それでは、少し飛んでいただきまして、16ページでございます。16ページの一番下でございます。市債の中の12番、臨時財政対策債でございます。本年度の予算額を9億円として計上させていただきたいと

いうふうに考えております。こちら、先ほど、地方交付税のところでも少し触れておりますが、国のほうの地方財政計画、これに基づきまして、かなり臨時財政対策債、抑えていただけたということでございますので、前年度より14億円減少させまして、率としては60.9%の減と、9億円を計上させていただいているものでございます。

以上で、歳入のほうの説明は終わらせていただきます。

○塩谷範夫次長兼職員課長 委員長。

◆砂田典男分科会長 塩谷次長。

○塩谷範夫次長兼職員課長 はい。職員課、塩谷です。続きまして、歳出のほうの主なものの説明をさせていただきます。資料のほう、17ページをお開きください。総務費、総務管理費、一般管理費の職員費（特別職）でございます。予算書ページ、156ページでございます。こちらのほうは、市長・副市長の給料ということで、3,648万円を計上しております。

その下、職員費（一般職）でございます。同じく、予算書の156ページでございます。こちらのほうは、一般職、総務費、一般管理費のほうで見ておる人件費ということでございます。総務部、企画推進部、総合支所の支所長、及び、地域振興課の職員247人分の人件費、18億8,185万4,000円が人件費、それから、派遣職員の人件費負担金ということで、1億2,018万5,000円が内訳となっております。

続きまして、その下、退職手当でございます。予算書のほうが156ページ、事業別概要書は35ページ上段でございます。こちらのほう、本年度予算額としては4,200万を計上しております。定年延長によりまして、来年度は定年退職者はいないところでございますが、早期退職の2名分というのを一応想定をしております、4,200万ということで計上をさせていただいております。

続きまして、その下、補助職員費でございます。予算書ページ、156ページでございます。要求額は1億988万2,000円でございます。こちらのほうは、一般管理費で見ております補助職員費44名分の人件費ということで計上をさせていただいたところでございます。

続きまして、下のほうに下がっていただきまして、下から2段目、研修参加費でございます。予算書のほうは158ページでございます。要求額としては、2,320万8,000円を要求をいたしております。こちらのほう、研修関係事務費ということで、講師招聘でありますとか、県外研修施設への派遣旅費、それから、県の人材開発センターへの研修委託料等を計上しておるものでございます。

それから、その下、衛生管理費のうち、衛生管理関係事務費でございます。要求額としましては、2,886万9,000円を計上をしております。こちらのほうは、市立病院との健康管理委託料でありますとか、定期健診、人間ドック等の検査手数料のほうを計上させていただいております。説明のほうは以上です。

○濱岡直樹財産経営課長 はい、委員長。

◆砂田典男分科会長 濱岡課長。

○濱岡直樹財産経営課長 はい。財産経営課、濱岡です。はぐっていただきまして、18ページになります。目のほうが6の財産管理費です。財産管理費の庁舎管理費の中の維持管理費になり

ます。この維持管理費につきましては、本庁舎と駅南庁舎の清掃業務などの施設管理委託料や、修繕費などの予算になっております。予算書は162ページです。この内訳につきましては、本庁舎が1億4,447万9,000円、駅南庁舎が6,643万6,000円になります。事業別概要の36ページ上段には、駅南庁舎の維持管理費を載せております。こちらのほうで、既に保健所部分につきましては、保健所の当初での改修をいたしましたときに、LED化をしておりますけれども、このたび、図書館と駐車場部分につきまして、照明のLED化を行ってまいります。6年間のリースで、これを導入していきます。令和5年度予算といたしましては、半年分、6か月分の381万8,000円を計上しております。総額で6,109万円の予定です。

1つ申し訳ないですけど、訂正させてください。事業別概要の、先ほど36ページ上段なんですけれども、この中段辺りの事業の内容のところ、LED照明リースということで、令和5年～令和12年と記載させていただいておりますけれども、令和5年が年度中途から入りますので、もう一年足していただいて、令和13年までということで、期間としては8年間なんですけれども、年度としましたら9年になるということで訂正させてください。申し訳ございません。

続きまして、財産管理費の総合支所整備事業費になります。予算書は162ページ、事業別概要は36ページの下段になります。各総合支所におきましては、防災機能の向上等図るために、旧耐震基準の総合支所、こちらにつきましては、もう耐震改修を既に終わらせております。残る新耐震の総合支所、こちらのほうにつきましても、防災機能の向上等を図る改修を行っているところなんですけれども、令和5年度につきましては、国府町総合支所の実施設設計費、こちらを1,610万円計上させていただいております。財源といたしましては、地方債ということで、緊急防災・減災事業債、こちらを充当しております。

また、平成24年12月の支所移転に伴いまして、廃止されました旧の国府町総合支所につきまして、本年度解体の実施設設計を行っております。引き続き、来年度は、解体・撤去の工事を行う予定にしております。費用につきましては、1億3,580万8,000円、こちらを計上させていただいております。財源につきましては、県道の改修工事、こちらが関わってきますので、一部建物が移転補償費を頂けるということで、760万を移転補償費としまして、それ以外のところにつきましては、地方債、公共施設等適正管理事業債、こちらを充当して実施いたします。

続きまして、旧本庁舎・第二庁舎解体事業費になります。予算書は162ページ、事業別概要は37ページの上段になります。旧本庁舎と第二庁舎に係ります地盤変動影響調査、事後調査になりますけれども、こちらに必要な経費となります。着工前に調査を行いました周辺家屋につきまして、工事による損傷等が生じていないか調査を行うための事業費になります。12月に完了予定としておりますけれども、工事による振動等によりまして、対象家屋に損傷等が生じていたことが判明いたしましたら、後の議会で、また補償費のほうを計上させていただく予定ですので、よろしく願いいたします。以上です。

○福井一朗資産活用推進課長 委員長。

◆砂田典男分科会長 福井課長。

○福井一朗資産活用推進課長 はい。資産活用推進課、福井でございます。同じページの一番下になります。財産管理費のファシリティマネジメント推進事業費でございます。予算書は162

ページ、事業別概要は38ページ上段となります。本年度要求額は5,992万2,000円です。主な内訳ですが、1点目は、効率的な市有財産の維持管理を図るための経費、4,017万7,000円を計上しております。これは、施設管理業務等、一括予算要求、一括発注を行う施設の清掃、消防用設備点検、並びに建築基準法第12条による建築物の点検費などを計上したものでございます。次に、債務負担行為による事業費1,122万8,000円です。これは、民間提案制度の採択事業で、92施設の蛍光灯をLED化したESCO導入事業、並びに、気高町総合支所の空調設備を自動制御運転する、エネルギー削減補償サービス導入事業です。両事業とも、電気料金の削減範囲内で施工した工事費等を償還するものでございます。このほか、未利用資産売却のための鑑定料、測量費等、こちらのほうを計上しております。以上でございます。

○濱岡直樹財産経営課長 委員長。

◆砂田典男分科会長 濱岡課長。

○濱岡直樹財産経営課長 はい。財産経営課、濱岡です。では、19ページになります。上から5段目になります、車両維持管理費です。こちら、公用車の維持管理に関する予算を計上しておりますけれども、新年度、令和5年度から、脱炭素のまちづくりに貢献できますよう、今後リース期間の終了する公用車につきましては、電気自動車への切替えを行ってまいりたいと考えております。令和5年度につきましては、3台の更新を予定しております。従来、リースで契約しておるんですけれども、有利な財源を活用するために、備品購入費として796万円、1台当たり約265万3,000円、こちらを計上させていただいております。財源といたしましては、1台当たり55万円のクリーンエネルギー自動車導入促進補助金と、地方債、脱炭素化事業債、こちらを充当して執行してまいりたいと考えております。以上です。

○河口正博次長兼行財政改革課長 委員長。

◆砂田典男分科会長 河口次長。

○河口正博次長兼行財政改革課長 はい。行財政改革課、河口でございます。先ほどの説明の1つ飛んで、下でございます。公共施設等整備基金積立金でございます。本年度予算額が2億2,413万2,000円ということでございます。こちらは、先般2月8日に、鳥取県と覚書を結びました、市道美術館通りの取扱いの件で、県のほうから負担金を頂けるということでございますので、頂いた負担金は、この公共施設等整備基金に積立てを行いまして、今後の公共施設に使いたいというふうに考えております。その他のところが、県からの負担金ということでございます。以上でございます。

すみません、引き続き、私のほうでございます。そこから2つ飛んで、下でございます。7企画費、総合企画費でございます。本年度予算額が103万8,000円でございます。こちらは、行財政改革大綱等推進事業費（市民委員会）でございます。こちら、市民委員会、総勢10名の方で構成してる委員会でございますが、こちらの方が、市政改革プランの進行管理、こういったものを行っていただいております。大体、年に7回程度を行う予定にしておりますので、その報償費等でございますが、その経費として37万4,000円を計上するものでございます。以上でございます。

○池上朱美男女共同参画課長 委員長。

◆砂田典男分科会長 池上課長。

○池上朱美男女共同参画課長 はい。男女共同参画課の池上です。資料のほうは、19ページの中ほどに男女共同参画推進費がありまして、その中で、下から3つ目になりますが、女性応援つながりサポート事業費について御説明をさせていただきます。事業別概要は、49ページ下段を御覧ください。予算要求額は100万円です。この内訳としまして、国の地域女性活躍推進交付金で75万円、一般財源で25万円予定をしております。この事業は、女性特有の健康課題について、男女ともに理解と共感を高めるため、女性のライフステージにおける悩みや、困り事について、正しい知識を持っていただくための講座の開催や、情報誌等の提供、また、情報交換や学びの場として、女性が集まり、話し合うことができる場をつくるとともに、女性相談コーナーを設置するなど、女性の心と体に関する不安の解消を図るものです。実施につきましては、民間団体等へ委託することとしております。以上です。

○植田孝二危機管理課長 委員長。

◆砂田典男分科会長 植田課長。

○植田孝二危機管理課長 はい。危機管理課、植田でございます。続いて、資料は20ページを御覧ください。予算書は168ページ、事業別概要は51ページ下段、目は諸費に変わります。総合防災対策費の自主防災会連合会補助金でございます。予算額は2,468万円、前年度比968万円の増でございます。事業の目的や内容につきましては、事業別概要に記載、または、全員協議会での予算概要説明で、危機管理部長が御説明したとおりでございますが、補足の説明としまして、事業別概要の米印に記載しておりますが、令和4年度までは、②と③を内容としまして、市が直接、自主防災会に補助金を交付する、自主防災活動補助金事業という、別の事業を行っておりました。この自主防災活動補助金事業の対象となる団体が、同じ自主防災会であることから、2つの事業を統合しまして、鳥取市自主防災会連合会を通じた自主防災会活動を支援することとしたものであります。

続きまして、6段下がりまして、予算書は168ページ、事業別概要は52ページ上段、総合防災対策費の自主防災会関係費でございます。予算額は123万2,000円、前年度比増減なしでございます。この事業は、地域の防災事情に詳しい方を、防災指導員、または防災リーダーとして養成し、各地区の防災活動の中核を担っていただく人材を育成しようとする事業で、今現在は、防災指導員54名、防災指導員、事業別概要には698となっておりますが、最新では、3名減の695名を委嘱、登録しております。なお、防災指導員には、年間報償金1万円のほかに、防災指導員が地域で講習を行った場合は4,000円、防災リーダーが講習を行った場合は2,000円の報償費をお支払いしとるものでございます。

続いて、予算書は168ページ、事業別概要は52ページの下段、同じく諸費の防災行政無線整備事業費でございます。予算額は1億4,580万円、前年度比5,330万円の減でございます。平成16年度から着手しました防災行政無線整備事業は、令和2年度に、全市のデジタル化をもって完了いたしました。今後は、初期に整備した機器や設備を計画的に更新整備し、安定的な運用が行えるようにすることとしております。

令和5年度は、国府地域の一部で再整備を行います。その内容としましては、現在は、国府

町の荒舟山という山がございますが、この山の頂上に、本市の防災行政無線の中継局を設置しまして、その周辺の屋外拡声子局などに電波を届けております。この中継局の敷地や、中継局に至る道路の管理者はNTTドコモさんなのですが、ドコモさんのほうから、敷地や道路を売却すると、売却の方針であると、市に対して連絡、打診がございました。これを受けまして、対応を検討しましたが、今後の管理などを考え、防災行政無線の荒舟の中継局を撤去し、中継局が防災行政無線の電波を送っていた地域につきましては、IP無線方式という方式を使って再整備することとしました。この中継局の撤去に伴いまして、屋外拡声子局の新設を8基、改修を8基行います。併せて、市役所本庁舎の親局の所要の整備を実施するものでございます。なお、IP無線方式に変更されましても、防災行政無線と同じ内容で、同時に放送はされます。

続きまして、予算書170ページ、事業別概要53ページの下段、防災備蓄事業費でございます。予算額は536万円、前年度比85万4,000円の減でございます。これは、災害時において、避難所運営に必要な物資や、避難所に提供する食料・飲料水、また、応急対策に必要な資材を備蓄するものであります。備蓄は大きく2つの取組で行っておりまして、1つは、鳥取県西部地震を教訓に、アルファ化米やブルーシートなど、災害時に必要となる22種類の物資を、県内の市町村が共同して備蓄して、災害時には、相互救援によって、被害を受けてない市町村が、被災市町村に物資供給、応援をするための連携備蓄。もう一つは、過去の災害事例やニーズが高い物資について、本市独自に備蓄を行う取組で、パーティションや段ボールベッド、感染症対策で使用する衛生用品などを備蓄するものであります。

令和5年度の当初予算では、保存用ビスケットや保存水などの非常食や、大人・子供のおむつなど衛生関係用品、乾電池など、使用期限の到来による更新整備を行います。また、新市域の小学校や義務教育学校への分散備蓄を進めるために、備蓄品を収納するロールボックスパレットといいまして、スーパーマーケットで品出しをするような台車のようなものですが、これの30台分を整備することとしております。

なお、年度当初予算額としまして、前年度比85万4,000円の減となっておりますが、令和4年度、先ほど、午前中の審議でしていただきました2月補正予算で、350万円の増額をお願いしておりまして、全額を5年度に繰越しさせていただきたいと考えておりますので、13か月予算として合わせて考えますと、264万6,000円の増となるものでございます。

続いて、予算書170ページ、事業別概要54ページ下段、防災ラジオ整備事業費でございます。予算額は952万8,000円、前年度比1,842万3,000円の減でございます。これは、緊急情報の主たる情報伝達手段としている防災行政無線の屋内での聞き取りにくさの対策のため、市内全域をカバーしているFM鳥取、人口カバー率が99.7%程度でございますが、この電波を利用しまして、防災行政無線と連動した鳥取市防災ラジオを市民の皆様に購入していただくことで、防災情報の発信力を強化しようとするものであります。令和2年度から、市民の皆様に電気店等を通じて販売しており、令和3年度末までに、1万5,000台余りを御購入いただきました。令和5年度は、1,000台程度の販売を見込んでおるものでございます。以上です。

○一村泰志次長兼総務課長 はい、委員長。

◆砂田典男分科会長 一村次長。

○一村泰志次長兼総務課長 はい。総務課、一村でございます。予算資料は、戻っていただきまして、20ページの中段、防災行政無線整備事業費から4つ下にお下がりいただけますでしょうか。非核平和都市宣言推進鳥取市実行委員会補助金というところになります。本市では、毎年、夏の時期を中心に、同実行委員会に補助金を支出して、非核平和事業を行っております。来年度予算は59万円で、本年度と比較して、約20万足らずの増額としております。理由としましては、来年度は、非核平和都市宣言から、宣言の制定から40周年を迎えるという年に当たります。従来 of 事業と併せて、これを記念したイベントなどを実施していただくための関連予算でございます。具体的には、場所はまだ検討中ですが、長崎から被爆体験者である講師をお招きして講演会を開催するとともに、市内の全小学校の5・6年生に、平和に関する動画を視聴していただく平和学習の実施などを計画しております。以上です。

○福井一朗資産活用推進課長 委員長。

◆砂田典男分科会長 福井課長。

○福井一朗資産活用推進課長 はい。資産活用推進課、福井でございます。それでは、ページは21ページとなります。上から4段目、ふるさと納税推進事業費でございます。予算書は172ページ、事業別概要は38ページ下段となります。本年度要求額は3億153万円、財源は、その他財源として、出店手数料3,052万7,000円、一般財源2億7,100万3,000円をお願いするものでございます。前年度より、6,919万3,000円の増となります。増額理由でございますが、個人版ふるさと納税の納税寄附額を、令和3年度の決算相当額6億2,000万円と見込んだものでございます。主な内訳としまして、返礼品の調達、発送経費2億1,204万円、外部ウェブサイト利用手数料6,087万円、本市の返礼品を広角的な写真などで魅力を向上させ、外部サイト等に掲載するブランディング業務委託費449万円、その他、事務的経費及び会計年度職員人件費となっております。また、企業版ふるさと納税の経費といたしまして、マッチング支援サービス手数料11万円を計上しているものでございます。以上でございます。

○池原章博収納推進課長 委員長。

◆砂田典男分科会長 池原課長。

○池原章博収納推進課長 はい。収納推進課、池原です。資料は同じく21ページ、下から6行目になります。徴収事務費の納付催告センター運営費を御覧ください。事業別概要は41ページの下段となります。予算書は172ページです。納付催告センターは、市税や国民健康保険料について、納期限後に納付のない方へ早期の電話催告をすることで、新規の滞納を防ぐとともに、一時的に納付が難しい場合は、納付相談に早期につながりということで、滞納が累積しないような取組を行っているものです。このたびですけれども、納付催告センターの運営のため、優秀な人材の確保や、あと、既存の職員の流出防止、あと、業務の質の向上などを目的に、同一労働同一賃金等も踏まえて、賃金のベースアップと勤務条件の改善を行うこととしております。また、必要な部分は、その他精査をした上で、運営に係る経費としまして、前年度比214万4,000円増の2,342万4,000円として予算計上をしているものです。以上です。

○谷口恭子人権政策局長兼人権推進課長 はい。

◆砂田典男分科会長 谷口局長。

○谷口恭子人権政策局長兼人権推進課長 はい。人権推進課、谷口でございます。そうしましたら、委員会資料は22ページでございます。下から7番目、款は民生費、社会福祉費、人権推進総務費の事務費の人権施策基本方針第3次改訂事務費でございます。事業別概要は42ページ上段です。予算額は101万1,000円でございます。当初予算の概要説明の部分は割愛をさせていただきます。鳥取市差別のない人権尊重の社会づくり条例に位置づけられております、人権施策基本方針の第3次改訂に向けて、必要な予算を計上するものでございます。基本方針の策定に当たりましては、条例に位置づけられております人権尊重の社会づくり協議会の御意見を踏まえることとしておりまして、この事業費の内訳といたしましては、協議会の開催費6回分の報酬、それから事務費、こちらが約66万円、改訂冊子の製本費やチラシの作成費35万円としております。

続きまして、委員会資料23ページでございます。犯罪被害者支援事業費、中ほどの部分でございます。こちらも当初予算で御説明いたしました。事業費は37万3,000円でございます。財源内訳の15万円は、県の補助金を頂くものでございまして、犯罪被害者等支援条例で位置づけております見舞金の支給に当たりましては、県が半額助成することとしております。このたび、予算は、御遺族にお支払いする30万円の扶助費、それから、啓発に係る消耗品7万3,000円を計上するものでございます。

続きまして、23ページの下から2番目、16の人権交流プラザ管理費、人権交流プラザ改修事業費、人権交流プラザ内部改修事業、1,164万のことで、事業内容でございます。事業別概要は45ページ上段でございます。財源内訳といたしましては、緊急防災・減災事業債など、起債1,120万円を充当することとしております。人権交流プラザは、1977年に建築されました鉄筋コンクリート三階建て、延べ床面積は1,417平米でございます。建築後45年経過しておりまして、施設や設備が老朽化をしております、長寿命化に図る年次的な改修を行っているところでございます。直近では、令和2年度に外壁改修工事6,253万円を行いました。今後は、老朽化したトイレ、全階のトイレ、それからエアコンの設備更新、それから、相談機能の環境をよくするために、個室の相談室を新たに設置したいと考えております。1階の入り口のフリースペース、各執務室、2階の研修室に廊下や間仕切りを造ったり、それから、廊下や階段部分のクロスなど、古くなった部分の張り替え、照明などの改修を行いたいと考えております。こちらの設計業務委託費を計上するものでございます。以上でございます。

○川口寿弘人権政策局次長兼中央人権福祉センター所長 委員長。

◆砂田典男分科会長 川口所長。

○川口寿弘人権政策局次長兼中央人権福祉センター所長 はい。中央人権福祉センター、川口でございます。資料24ページの上段になります。地域食堂ネットワーク運営補助金についてです。予算書194ページ、事業別概要46ページの下段です。予算額は685万8,000円となっております。内訳としましては、地域食堂への支援を行っている地域食堂ネットワークの事務局経費が411万5,000円、これに合わせまして、本市が生活困窮者への食料支援を行う体制を強化するためのフードサポート事業費の経費が274万3,000円となりまして、前年度予算より増額している部分が、このフードサポート事業の274万3,000円相当になります。以上でございます。

○河上昌輝検査契約課長 委員長。

◆砂田典男分科会長 河上課長。

○河上昌輝検査契約課長 はい。検査契約課、河上です。説明資料は同じく24ページ、一番下の行となります。土木費、土木管理費、土木総務費の事務費です。予算書は242ページとなります。前年度予算額は28万1,000円に対し、本年度予算額2万9,000円をお願いするものです。本市の入札に参加するための申請の審査処理に要する経費です。25万2,000円の減となりますが、これは、令和4年度が、2年に1度の建設工事等の入札参加資格の定期申請の年に当たっていたものです。昨年11月10日～12月の9日にかけて定期申請の受付を行い、市内の工事業者319者、測量等業務の48者を含めて、合計1,078者の申請を受付を行っております。建設工事は、一般土木など41工種、測量等業務は、土木コンサルタント業務など5部門で受付を行っており、入札参加資格の有効期限は2年間となります。この4月から新しく、令和5・6年度の入札参加資格として適用することとしております。以上です。

○植田孝二危機管理課長 委員長。

◆砂田典男分科会長 植田課長。

○植田孝二危機管理課長 はい。危機管理課、植田です。続きまして、資料は25ページになります。予算書は258ページでございます。予算科目は消防費に変わります。款消防費、項消防費、目は常備消防費の消防署庁舎等整備事業費でございます。予算額は952万3,000円、前年度比皆増の952万3,000円の増でございます。これは、鳥取県東部広域行政管理組合、消防局のほうを整備いたします、消防署の庁舎等の整備に係る事業でございます。消防署の庁舎の敷地は、消防署が所在する市町が準備して、東部消防局に無償貸付けをし、庁舎自体は東部消防局が整備することが協定で定められております。こちらのほう、言えば、用地に関する経費というようなこととなります。

令和5年度に実施する事業の内容は、1点目が、昨年9月までに建て替え工事が完成しまして、12月8日から運用が開始されました八頭消防署用瀬出張所につきまして、旧出張所の庁舎の解体、これは、令和5年度に東部消防局が行われる予定ですが、この解体後、跡地を整備するものでございます。跡地整備後は、用瀬保健センターの駐車場として使用する予定でございます。

2点目は、気高消防署の建て替えに伴う移転用地の土地鑑定評価でございます。気高消防署の現在の庁舎は、建築後44年が経過しておりまして、建て替え整備をする必要がございます。現在地では、ヘリの離着陸や、大規模災害時の緊急消防援助隊の受入れなど、求められる機能に対応できないため、移転して新たな消防署を整備することとされていますが、この移転先の用地を取得するための土地鑑定評価を行うものでございます。具体的な移転先は、現在検討中ですが、具体的に取得の見込みがございましたら、補正予算、補正などで所要の予算措置をお願いしたいと考えているところでございます。

続いて、同じく25ページでございます。予算書は260ページ、款消防費、項消防費、目は消防施設費に変わります。消防施設等整備費の防火水槽整備費（新設等）でございます。予算額は1,010万円、前年度比皆増の同額1,010万円の増でございます。財源内訳は、全額地方債

といたしております。消火栓や河川などの消防水利から距離のある地域などにつきましては、地域の実情に応じて、防火水槽の新設を行う必要がございます。令和5年度予算につきましては、湯所町1丁目の地内に、40トンの耐震性防火水槽1基を新設するものでございます。これは、地元町内会からの要望に基づき、詳細な調査をしたところ、既設の消火栓で一部の建物がカバーされないことが分かったことから、消防水利の設置基準を満たすために、防火水槽を設置することとしたものでございます。

続いて、一段下がり、予算書は260ページ、款消防費、項消防費、目消防施設費の消防施設等整備費、消防ポンプ車格納庫建設事業費でございます。予算額は360万円、前年度比皆増の360万円の増でございます。こちら、財源内訳は全額地方債としております。この事業は、老朽化や狭小であるため、現在の規格の消防ポンプ車が格納できない、また、待機室がないなどによって、更新整備の必要がある消防団の消防ポンプ車格納庫を整備するものであります。令和5年度は、河原第2分団の格納庫を建て替え整備するために、その実施設計を行うものであります。現在の河原第2分団の消防ポンプ格納庫は、河原町中井の旧西郷地区公民館横に設置しておりますが、建設から60年が経過しまして、老朽化しております。また、狭小で待機室も備えられておりません。この消防格納庫を、旧西郷地区公民館の解体後の跡地に新築整備することとするものでございます。以上です。

○河川正博次長兼行財政改革課長 委員長。

◆砂田典男分科会長 河川次長。

○河川正博次長兼行財政改革課長 はい。行財政改革課、河川でございます。それでは、26ページを御覧ください。款公債費でございます。予算書のページが290ページ、事業別概要が34ページ、上段が元金、下段が利子ということでございます。公債費、元金でございますけども、本年度予算額が92億4,732万1,000円でございます。前年度より5,740万6,000円の増ということでございます。この財源内訳でございますが、国・県支出金の1,174万6,000円につきましては、こちら、工業団地の用地整備に係る市債につきましては、その償還に合わせまして、県のほうから2分の1頂けるということでございますので、その額が1,174万6,000円ということでございます。それから、その他のところに、4億8,947万2,000円でございます。こちらは、地域総合整備資金貸付金元金収入ということで、いわゆるふるさと融資を受けられた方から、その償還に合わせて元金を頂けるというものでございます。こちら2つが特定財源ということでございます。

それから、その下、2番、利子でございます。こちら、本年度予算額が4億9,712万5,000円ということで、前年度より1,018万8,000円の増ということでございます。こちらの国・県支出金のところにあります97万7,000円が、先ほどと同様、利息分につきましても、県のほうから2分の1、工業団地分を頂けるということでございます。それから、その他のところの2億704万6,000円につきましては、こちらは住宅使用料、市営住宅の使用料、それから、駐車場の使用料、こういったもので、2億704万6,000円を計上しているものでございます。

以上で、一般会計の歳入・歳出の予算の説明を終わりにさせていただきます。

◆砂田典男分科会長 御説明いただきました。

本日の委員会では、この議案につきましては説明のみとなっておりますが、委員の皆様で、聞き取りにくかった点や字句の確認等がございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆砂田典男分科会長 はい。では、ないようですので、この件に関しまして、質疑は3月13日の後半の委員会でございますから、よろしく願いいたします。

それでは、説明の終わりました部署は、ここで御退席ください。ありがとうございました。

議案第6号令和5年度鳥取市土地取得費特別会計予算（説明）

◆砂田典男分科会長 はい。次に、議案第6号令和5年度鳥取市土地取得費特別会計予算について、御説明を簡潔明瞭をお願いいたします。

○福井一朗資産活用推進課長 はい、委員長。

◆砂田典男分科会長 福井課長。

○福井一朗資産活用推進課長 はい。資産活用推進課、福井でございます。それでは、予算資料は、同じく資料3の27・28ページとなります。予算書は418ページ～421ページ、事業別概要は285ページ下段となります。この特別会計は、公用または公共用に供する土地等をあらかじめ取得することにより、事業の円滑な執行を図るために設置した土地開発基金について、その運用益の管理を行っているものでございます。

初めに、27ページの歳入でございます。土地開発基金運用収入といたしまして、令和5年度当初の基金総額の見込みは、基金額と土地開発公社貸付金額を合わせまして、22億3,358万6,000円となります。この運用益といたしまして6万7,000円、この基金運用利率は0.003%でございますが、これを運用収入として計上いたしております。

続きまして、28ページの歳出でございます。歳入の運用益6万7,000円を、土地開発基金へ積み立てるものでございます。

以上、歳入・歳出合計ともに、本年度予算額6万7,000円を計上いたしております。以上でございます。

◆砂田典男分科会長 はい。御説明をいただきました。

本日の委員会では、この議案につきましては説明のみとなっておりますが、委員の皆様で、聞き取りにくかった点や字句の確認がございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆砂田典男分科会長 質疑に関しては、同じく3月13日の後半に行いたいと思います。

議案第9号令和5年度鳥取市財産区管理事業費特別会計予算（説明）

◆砂田典男分科会長 次に、議案第9号令和5年度鳥取市財産区管理事業費特別会計予算について御説明をお願いいたします。

○濱岡直樹財産経営課長 はい、委員長。

◆砂田典男分科会長 濱岡課長。

○濱岡直樹財産経営課長 はい。財産経営課、濱岡です。財産区管理事業費の特別会計になりま

す。資料3の29ページを御覧ください。こちらが歳入のほうになります。令和5年度におきます各財産区の財産運用収入のほか、各歳入金を積算しまして、歳入予算は対前年度103万1,000円増の1,276万3,000円とさせていただきます。

中段、前年度繰越金、こちらが約90万ほど増えておりまして、こちらによるものが大きいことになっております。

歳出につきましては、次の30ページになります。こちらも、各財産区の管理会の活動運営費とかと、あとは予備費に積んでおく経費等、そういうものを合わせまして、歳入と同じ額の1,276万3,000円、こちらを計上させていただきます。

以上、財産区管理事業費特別会計の歳入と歳出になります。以上です。

◆砂田典男分科会長 御説明をいただきました。

本日の委員会では、この議案につきましては説明のみとなっておりますが、委員の皆様で、聞き取りにくかった点や字句の確認等はございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆砂田典男分科会長 これも同じく、質疑は3月13日の後半に行いますので、よろしく願いいたします。

それでは、予算審査特別委員会総務企画委員会を一旦終了いたします。総務部の皆様、お疲れさまでした。ここで、しばらく休憩を取りたいと思います。再開は3時5分といたします。

（「はい」と呼ぶ者あり）

◆砂田典男分科会長 よろしく願いいたします。

総務企画委員会に切替え 午後3時5分 休憩

予算審査特別委員会総務企画分科会に切替え 午後3時18分 再開

◆砂田典男分科会長 それでは、総務企画委員会を終了し、予算審査特別委員会総務企画分科会を開催いたします。

議案第1号令和5年度鳥取市一般会計予算のうち所管に属する部分（説明）

◆砂田典男分科会長 議案第1号令和5年度鳥取市一般会計予算のうち、所管に属する部分の御説明を一括してお願いいたします。

○富山 茂監査委員事務局長 委員長。

◆砂田典男分科会長 富山局長。

○富山 茂監査委員事務局長 はい。監査委員事務局長の富山です。そうしますと、当初予算の説明資料のほうで説明をさせていただきます。公平委員会・監査委員は、めくってもらって2ページになります。まず、上段の公平委員会費でございます。予算書のほうは166・167ページになります。公平委員会費は、右側の欄のように、委員報酬、事務費、都市公平委員会費、会員都市分担金としまして、令和5年度は、全体で191万6,000円を計上しております。これは、前年度と比較しまして、24万5,000円の減額となっております。この原因ですが、都市公平委

員会の総会や理事会などは、会員都市の持ち回りで開催されまして、開催都市による旅費の変動によるものです。一番大きいものが全国の理事会になりますが、4年度は書面開催となりましたが、函館市で計上しておりましたが、5年度は、群馬県の高崎市の開催になるものでございます。

続きまして、監査委員費でございます。予算書のほうは190・191ページになります。監査委員費も、委員報酬、事務局職員の職員費、決算審査意見書の印刷製本費などの事務費と、都市監査委員会費としまして、全体で6,661万9,000円を計上しております。これは、前年度と比較しまして、79万6,000円の増額となっております。これも、変動は都市監査委員の総会などの開催地による旅費の変動によるものです。影響が大きいものは、これ全国の総会です、書面開催でしたが、4年度は横浜市、これが、5年度は秋田市の開催となりますので、旅費のほうが増額というふうになっております。以上です。

○馬場睦雄選挙管理委員会事務局長 はい。

◆砂田典男分科会長 馬場事務局長。

○馬場睦雄選挙管理委員会事務局長 はい。選管事務局長の馬場でございます。では、令和5年度当初予算について、選挙管理委員会所管分を説明させていただきます。説明資料の3ページを御覧ください。

歳入についてでございます。16県支出金、3委託金、1総務費委託金、選挙費委託金でございます。予算書は126ページでございます。県知事・県議会議員選挙費として、6,190万8,000円を計上しております。

次に、歳出についてでございます。2総務費、4選挙費でございます。予算書は176ページでございます。選挙費の予算は、総額で1億1,133万円を計上しております。まず、選挙管理委員会費であります。4,818万7,000円を計上しております。主な経費といたしましては、委員報酬106万2,000円、事務局職員費4,567万4,000円、一般事務費等が合計で91万1,000円でございます。

次に、選挙啓発費でございます。123万5,000円を計上しております。予算書は176ページ、事業別概要は248ページ上段でございます。常時啓発事業を行うための選挙啓発推進費100万円と、鳥取市明るい選挙推進協議会への補助を行う選挙啓発団体育成費23万5,000円でございます。選挙啓発推進費については、鳥取市明るい選挙推進協議会と連携して、啓発事業を実施するものでございまして、主な事業といたしましては、明るい選挙話し合い事業の実施、明るい選挙推進ソフトバレーボール大会の開催、明るい選挙啓発ポスター募集事業などがございます。

最後に、23県知事・県議会議員選挙費として、6,190万8,000円を計上しております。予算書は178ページ、事業別概要は248ページ下段でございます。鳥取県知事選挙及び鳥取県議会議員一般選挙が、統一地方選挙として、令和5年4月9日に執行される予定ですので、令和4年度は、準備経費を計上させていただいておりましたが、令和5年度は、投開票等に要する執行経費を計上しております。主な経費といたしましては、投開票日や期日前投票に要する時間外勤務手当が2,562万6,000円、選挙公報発送に要するタウンメール等の経費、役務費でござ

いますけども、総額で767万9,000円、ポスター掲示場の保守点検等に要する経費、委託料でございまして、総額で1,598万円でございます。財源につきましては、全額、県の委託金でございます。以上でございます。

◆砂田典男分科会長 中村会計管理者。

○中村理人会計管理者兼出納室長 はい。会計管理者、中村です。そうしますと、資料では4ページになります。主なものということです。説明させていただきます。歳入は、歳出のほうから説明させていただきます。

歳出、出納事務費、予算書は162ページ、事業別概要247ページとなります。出納事務費は、出納関係事務費、収納・支払いに係る事務処理費として2,833万4,000円を計上しております。主なものにつきましては、先ほどの2月補正でも説明しましたが、金融機関、決済代行機関等へ支払う手数料が2,075万1,000円、内容としましては、公金の金融機関での窓口収納や口座振替に係る事務処理手数料、ペイジー口座振替受付サービスをやっておりますが、それに実施に係る経費、金融機関窓口で支払われた納付書を、機械で読み取って収納データを作成するためのOCR処理に係る経費、それから、公金、収納及び公金支払いの口座振込データを、金融機関に伝送して処理する経費として計上しております。また、令和4年度から、窓口への証明書手数料等のキャッシュレス決済の開始に伴う決済手数料など、これが主なものであります。そのほか、通信費として355万9,000円、それから、各種帳票等の印刷として115万7,000円としております。なお、昨年度より850万円増加となっておりますが、これは、令和5年10月1日から、インボイス制度導入に対応するための財務会計システムの改修委託料として151万8,000円、それから、先ほど説明した納付書、OCR読み取り処理手数料、処理システム行使に伴う手数料が増額になったことによるものです。

続きまして、一番下、一時借入金利子です。予算書は290ページになります。一時借入金・繰替え運用利子として969万2,000円を計上しております。支出の需要に対して、一時的に資金不足を生じる時期に、短期借入れを行う利息です。新型コロナウイルス感染症対策として拡充した制度融資資金の年度当初、年度末に起きる不足する時期に合わせて、資金を確保するために一時借入れを行います。金融機関へ支払う利息として997万3,000円を計上しております。また、基金の繰替え運用も活用して、各基金への繰替え利息の支払いとして、35万9,000円を計上しております。以上でございます。

◆砂田典男分科会長 植田次長。

○植田光一市議会事務局次長 はい。そうしますと、資料の、説明資料の5ページを御覧ください。予算書は146ページで、まず、歳入からということでございます。雑入として2項目上げておりますが、タブレット端末通信料議員負担金ということで、104万5,000円ということで、端末に係る経費の2分の1相当分ということで上げさせていただいてるものでございます。

それから、歳出です。前年度比で増額になるものとか、減額幅の大きいものを中心に御説明をさせていただければと思います。歳出の上から2つ目、議員期末手当です。これが、人事院勧告を基にしているということで、月数が0.1月分上がっていることに伴いまして、222万5,000円の増額ということになっております。7,343万6,000円ということになります。

次です。議員共済費ということで、これは、平成23年の6月に制度が廃止されていて、旧議員対象ということで計上させていただいてる分です。年々予算が減少していったる関係で、負担率が下がってきておりまして、令和5年度につきましては、5,847万7,000円ということで、129万1,000円の減となっております。

続きまして、少し下がっていただいて、議会報発刊費ということで、こちらは、事業別概要245ページ上段になります。817万4,000円ということで上げさせていただいております。原材料費の高騰で、見積額が増えているということがありまして、123万9,000円増となっております。

続きまして、その1つ下、運営経費ということで、2,094万8,000円ということで、381万6,000円増ということで上げさせていただいております。これは、本年度の中途から手話通訳、字幕付きのCATVの中継とインターネット配信、それから、議会中継の手話通訳配置などを行っている関係で、当初予算ベースで比較したときに、これだけの差が出てくるというものでございます。

続きまして、全国市議会議長会負担金等です。130万4,000円ということで、79万円の減ということになります。令和4年度に、中国市議会議長会の定期総会を鳥取県で開催したために、開催県の市が負担金を支出した関係で増額になっておったんですけども、令和5年度は鳥取県の開催でなく、特別負担金が不要ということになりますので、79万円の減ということになります。

それから、事務局費ということで467万5,000円、29万7,000円増額になっております。これは、会計年度任用職員の報酬、期末手当、共済費の増額分ということになります。説明以上です。

◆砂田典男分科会長 はい。ありがとうございます。

○中村理人会計管理者兼出納室長 委員長。

◆砂田典男分科会長 中村会計管理者。

○中村理人会計管理者兼出納室長 会計管理者、中村です。すみません、先ほど歳入を説明するとは言いながら、漏らしておりましたので、改めて説明させていただきます。4ページになります。はい。先ほど、出納事務費のほうで、インボイス制度導入に伴う財務会計システムの委託のことを言いましたが、歳入のほう、雑入で、東部広域電算事務負担金として、30万6,000円をもらうようにしております。以上でございます。はい。

◆砂田典男分科会長 はい。ありがとうございます。

本日の委員会では、この議案につきましては説明のみとなっておりますが、委員の皆様で、聞き取りにくかった点や字句の確認等はございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆砂田典男分科会長 はい。質疑に関しましては、3月13日に行われます後半の委員会で行いたいと思います。

それでは、予算審査特別委員会総務企画分科会を終了いたします。執行部の皆様は御退席ください。ありがとうございました。

午後3時33分 閉会

令和5年2月定例会

総務企画委員会・予算審査特別委員会総務企画分科会

日時: 令和5年2月27日(月)

10:00~

場所: 本庁舎7階第1委員会室

総務部・危機管理部

《 総務企画委員会 》

◎議案【先議分：説明・質疑・討論・採決】

議案第19号 令和4年度鳥取市一般会計補正予算(第10号)【所管に属する部分】

議案第26号 令和4年度鳥取市財産区管理事業費特別会計補正予算(第1号)

◎議案【先議分以外：説明】

議案第35号 鳥取市税条例の一部改正について

議案第36号 鳥取市差別のない人権尊重の社会づくり条例の一部改正について

議案第49号 包括外部監査契約の締結について

議案第54号 工事請負契約の変更について

◎報告

報告第1号 専決処分事項の報告について(危機管理課)

鳥取市公共施設の整理合理化に関する方針について(市政政策コメントにむけて)
(資産活用推進課)

孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム推進事業について(人権推進課)

◎請願【質疑・討論・採決】

<請願(新規)>

令和5年請願第1号 「安保関連3文書」閣議決定の撤回、「敵基地攻撃能力」の保有や防衛費2倍化に反対する意見書の提出を求める請願

↓ 次ページがあります ↓

◎陳情【質疑・討論・採決】

<陳情（新規）>

令和5年陳情第1号 日本全体で解決すべき問題として、普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全の保障を求める陳情

令和5年陳情第3号 安保関連3文書の閣議決定に抗議し、大軍拡・大增税の中止、くらしと福祉に予算をまわすよう求める「意見書」提出を求める陳情

令和5年陳情第6号 日本全体で解決すべき問題として、普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全の保障を求める陳情

――― 《 予算審査特別委員会 総務企画分科会 》 ―――

◎議案【予算審査分：説明】

議案第1号 令和5年度鳥取市一般会計予算【所管に属する部分】

議案第6号 令和5年度鳥取市土地取得費特別会計予算

議案第9号 令和5年度鳥取市財産区管理事業費特別会計予算

監査委員

選挙管理委員会

出納室

市議会

――― 《 総務企画委員会 》 ―――

◎議案【先議分：説明・質疑・討論・採決】

議案第19号 令和4年度鳥取市一般会計補正予算（第10号）【所管に属する部分】

――― 《 予算審査特別委員会 総務企画分科会 》 ―――

◎議案【予算審査分：説明】

議案第1号 令和5年度鳥取市一般会計予算【所管に属する部分】

その他

――― 《 総務企画委員会 》 ―――

・令和5年度総務企画委員会視察について